

CDDP+PEM+BEV併用療法 (SH法)

シスプラチン	75mg/m ²	day1
アリムタ	500mg/m ²	day1
アバスチン	15mg/kg	day1

適応: 非小細胞肺癌(非扁平上皮)

審査日: 2019年 10月 22日

承認日: 2019年 10月 22日

催吐リスク:

HEC

血管外漏出リスク:

炎症性

1サイクル期間: **21日間**

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	~	day21
①	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		●							
②	9:00	イメンドカプセル125mg 1Cap	内服		●							
③	10:00~10:30	生理食塩水100ml+アロキシ0.75mg+デキサート9.9mg	点滴静注	30分	●							
④	10:30~10:40	生理食塩水100ml+アリムタ	点滴静注	10分	●							
⑤	10:40~11:40	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq+硫酸Mg 8mEq	点滴静注	60分	●							
⑥	11:40	生理食塩水20ml+ラシックス20mg	静注		●							
⑦	11:40~13:40	生理食塩水500ml+シスプラチン(合計500ml)	点滴静注	120分	●							
⑧	13:40~15:40	生理食塩水1000ml+アスパラK 10mEq	点滴静注	120分	●							
⑨	15:40~17:10*	生理食塩水100ml+アバスチン(合計100ml)	点滴静注	90分*	●							
⑩	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●							
⑪	9:00	イメンドカプセル80mg 1Cap	内服			●	●					
⑫	9:00	デカドロン錠4mg 2錠	内服			●	●	●				

* 初回 90分→2回目 60分→3回目以降 30分

プレメディケーション	葉酸: 本剤初回投与の7日以上前から葉酸としてパンビタン末を1日1回1g連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。 ビタミンB12: 本剤初回投与の少なくとも7日前に、シアノコバラミン注1000μgを筋肉内投与する。その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。
ポストメディケーション	投与翌日から経口にてデキサメタゾン8mgを3日間継続。点滴開始前～点滴終了後および3日目まで1日1000mLを目安に飲水。
投与・調整時に注意する点	シスプラチンは要遮光、アミノ酸輸液や乳酸ナトリウムを含む輸液との同時投与はシスプラチンの分解が起こるため避ける。

【根拠となる論文】

Barlesi F, et al. Maintenance bevacizumab-pemetrexed after first-line cisplatin-pemetrexed-bevacizumab for advanced nonsquamous nonsmall-cell lung cancer: updated survival analysis of the AVAPERL (MO22089) randomized phase III trial. Ann Oncol. 2014 25:1044-52.